

各 位

上場会社名	滝沢ハム株式会社
代表者	代表取締役社長 瀧澤 太郎
(コード番号)	2293)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 山口 輝
(TEL)	0282-23-5640)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,500	240	190	170	16.55
今回発表予想(B)	14,244	15	6	△189	△18.45
増減額(B-A)	△1,256	△225	△184	△359	
増減率(%)	△8.1	△93.8	△96.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	15,092	205	160	124	12.14

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,800	500	385	340	33.11
今回発表予想(B)	28,800	40	10	△220	△21.42
増減額(B-A)	△2,000	△460	△375	△560	
増減率(%)	△6.5	△92.0	△97.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	29,985	425	345	233	22.69

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,800	230	180	160	15.58
今回発表予想(B)	12,695	31	36	△160	△15.61
増減額(B-A)	△1,105	△199	△144	△320	
増減率(%)	△8.0	△86.5	△80.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	13,440	183	140	118	11.58

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,600	490	370	330	32.13
今回発表予想(B)	25,800	80	60	△170	△16.55
増減額(B-A)	△1,800	△410	△310	△500	
増減率(%)	△6.5	△83.7	△83.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	26,716	396	326	278	27.17

修正の理由

個別の業績について、当第2四半期累計期間においては、食肉加工品のハム類は新商品の売上が好調に推移しましたが、ソーセージ類は消費低迷の影響を受けたため、この部門の売上は減少しました。惣菜その他加工品および食肉についても、猛暑による消費不振の影響を受け、牛肉、豚肉の売上が減少しました。この結果、売上高については、当初予想を下回る見込みとなりました。

損益面については、営業利益および経常利益については、売上高の減少要因、原料の高騰および販売コストの増加によ

り、当初予想を下回る見込みとなりました。当期純損益については、投資有価証券評価損の計上および繰延税金資産の取り崩し等の要因により前回予想を下回る見込みとなりました。  
 以上の結果、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益ともに、前回予想を下回る見込みとなりましたので、当第2四半期および通期の業績予想を修正いたします。  
 連結業績予想の修正につきましては、主に個別の業績予想の修正によるものです。  
 なお、繰延税金資産の取崩しにつきましては、本日発表の「繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (22年5月14日発表)	—	1.00	—	2.00	3.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	3.00	3.00

### 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元策として剰余金の配当を経営の重要な課題と認識しており、財政状態を勘案し安定配当の維持を基本方針としております。

しかしながら、前ページの「業績予想の修正」に記載いたしましたとおり当第2四半期連結会計期間および通期の業績が大幅な減益となる見込みとなりましたので、誠に遺憾ではございますが、中間配当金および期末配当金を無配とさせていただきます。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、安定的な収益体質への改革に努め、配当可能利益の充実を図ってまいりますので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

(注)上記の業績予想及び配当予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上